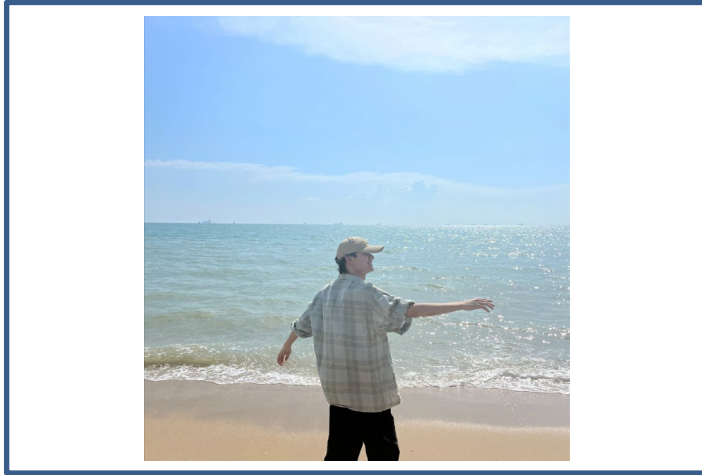




氏名	杉村 旭陽
所属	工学部 建築学科
学年	1 年
留学先	SEP(SoSHIP)研修（マラヤ大学）
留学期間	2025/02/16~2025/03/09

留学レポート Study Abroad Report

▼概要

2025 年 2 月 16 日～3 月 8 日のおよそ 3 週間、マレーシアのマラヤ大学において短期留学プログラム Summer Enrichment Programme に参加しました。SEP には主にふたつの特徴があり、ひとつは"バディ"という制度が設けられ、日本人 3～4 人に対してマレーシア人 1 人がつき、授業のサポートやトリップでの案内、夜ご飯の付き添いなどを行ってくれる点、もうひとつは授業に関して English Learning Program(ELP)と Social Sciences and Humanities Immersion Programme(SoSHIP)のふたつのコースが設けられている点です。

ELP では Grammar、Writing、Reading、Speaking の 4 種類が、SoSHIP では Adolescent Psychology、World Languages And Multilingualism、Introduction To Politics And International Relationship、Introduction To Southeast Asian Studies、Media, Culture, And Society、Media In Contemporary Media の人文社会学に関する 6 種類があります。これらに加えてどちらのコースも閉幕式に向けて Traditional Dance か Traditional Music を選択して練習します。

私は英語"を"学ぶのではなく、英語"で"学ぶことに興味があり、また自分自身が理系でありながらも人文社会学に関心を寄せていたことから SoSHIP の参加を決めました。

▼マレーシアについて

マレーシアは東南アジアの熱帯気候に位置し、主に二つの大きな島からなる国です。マラヤ大学は首都クアラルンプールにあり、日本との時差はマイナス 1 時間です。熱帯のため日中の気温は 30 度前後、半袖で過ごすことができますが、多くの室内は空調が効いていて寒く、寒暖差に注意が必要です。物価は体感日本よりも低いと感じることが多く、安いときは夜ご飯を MYR8～11(JPY280～385)ほどで食べることができます。日本ブランドも多数ありますが"日本ブランド"のため日本よりも高くなっています。

衛生環境は日本と異なることが多く、トイレトペーパーがなかったり、水が流れなかったりします。食事辛いものも多く、辛すぎて胃痛を起こす人や、原因はわかりませんがウイルス性の胃腸炎になった人もいたそうです。

しかし、ネガティブな面だけではありません。人が温かいと毎日実感するし、仏教、イスラム教、キリスト教、ヒンドゥー教などあらゆる宗教観があり、英語、マレー語、中国語、タミル語など様々な言語があるなど日本では考えられないような刺激的な日々を送ることが出来ます。実際、私が留学したタイミングではイスラム教のラマダンが行われており、神聖な宗教を直に実感することが出来ました。

▼留学前

SoSHIP には TOIEC785 程度の要件がありましたが、幸いにもその要件を満たしていたため参加を決めました。私はたった 3 週間で語学力を大幅に伸ばすことはもともと期待しておらず、それよりも語学に対する姿勢や異文化理解への向き合い方に重点を置いていました。そのため、留学前からある程度の英語力を身につけておく必要があると実感し、留学前は所属している国際交流団体に活動したり、オンライン英会話をしたりしました。結果としてある程度の会話はできるようになり、それが留学前の自信にも繋がったため、3 週間を無駄にしない為にも、個人的には留学前の英語勉強をオススメします。

▼留学中(平日)

午前は ELP も SoSHIP も 2 時間×2 コマの授業を行います。

○SoSHIP

SoSHIP では先述の 6 種類の授業を行います。人文社会学ということもあり、理系の私にはなじみのないものも多かったのですが、「人間」と密接に関連があるため、日常でなんとなく理解していたことをより専門的に理解でき、語学だけでなく教養としても素晴らしいプログラムです。例年、SoSHIP 参加者は日本人とマレーシア人バディ含めて 20 人ほどだそうですが、今回、希望者が少なかったため、日本人 4 名、マレーシア人 3 名の計 7 名のクラスでした。

日本人 4 人ということもあり、非常にアットホームなクラスで、気軽に意見が出しやすく、授業を受けながらもお話しているような感覚でした。もちろん授業が難しいと感じることもありましたが、先生方は噛み砕いて説明して下さり、バディも私たちのことをサポートしてくれるので、完全に置いていかれることは無かったです。また、授業中に先生がカフェに連れて行ってくれたり、お菓子を沢山くれたり、授業中も授業外も一体感のあるクラスだったと感じています。確かに難しいですが、それ以上に英語も文化も価値観も学べるプログラムです。

午後からは日替わりで以下の二つを行います

○Traditional Dance か Traditional Music

ダンスか音楽かを選び、2 時間×週 2 回×3 週間練習し、クロージングセレモニーで発表します。

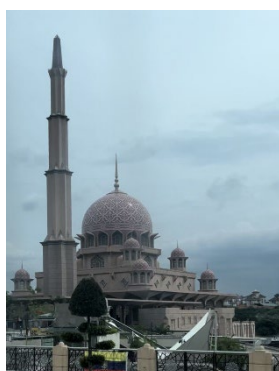
○Trip

バスでバディがマレーシアの観光施設に連れて行ってくれます。ツインタワー、プトラモスク、バトゥ洞窟などの有名観光地を中心に案内してくれます。バスではカラオケが行われたり賑やかでした。

放課後はバディによってそれぞれご飯に連れて行ってくれたり、デリバリーしたりします。



Universiti Maiaya



Putra Mosque



Batu Cave



Murdeka 118

▼留学中(休日)

土曜日は参加者全員でバスでマラッカや田舎に出かけ、日曜日はバディと行動、あるいはフリータイムで各自出かけたり、休んだりしていました。私は日曜日のタイミングでブルーモスクなどを訪れましたが、他の人は遊園地に出かけたりカラオケに行ったりしていました。

▼宿泊施設

Hotel Armada Petaling Jaya という所に宿泊でした。2 人部屋のためルームメイトは他大学のことも多く、また班も違うということも多いです。毎日部屋の清掃やペットボトルの補充、タオルの交換などを行ってくれます。シャンプーやボディーソープなど最低限のアメニティ、ドライヤーなどはそろっていますが、その他は各自調達か日本から持っていく必要があります。

▼金銭関係

合計で 40,000 円程あれば、食費、交通費、交友費、諸々大丈夫だと思います。別途 4,000 円ほどの観光税をホテルで支払う必要があります。想像以上にキャッシュレス化が進んでいるので、クレジットカード(出来れば VISA)を持っていくことをおすすめします。換金は日本でしていてもよいですが、現地についてからバディにお願いして連れて行ってもらうことも可能です。

▼洗濯

ホテルに洗濯機はなく、近くのランドリーに行く必要があります。歩いて 10 分ほどのところにあつたので行きやすさはありますが、混み具合などを考慮しても 1 回回りトータル 1 時間半から 2 時間ほどかかりました。夜ご飯を外で食べてからそのあとに行くことがほとんどなので、時間的余裕を考えても週 1~2 回に抑えられることをオススメします。また、洗濯機が大きいので、友人と共有するときのために洗濯ネットがあれば便利です。

▼治安

治安は比較的良好だと思いますが、観光地などで、財布やスマホを盗まれた人もいたそうです。

▼全体の感想

私はこのプログラムに参加して大正解だと思えるぐらいに満足しています。もちろん、客観的に見れば 3 週間の留学は非常に短く、このプログラムでは日本人が 100 人ほどいるので気を抜いていると日本語で生活することも可能だと思われるかもしれませんが。実際そうで、思い返すと 3 週間はあっという間で、また積極的に英語を使おうとしないと話す機会はどんどんと少なくなります。100 人もいれば人間関係の問題もあったみたいです。しかしその 3 週間をどう生かすかは自分次第で、自分の中でしっかりと目的があれば、このプログラムは最適だと思います。

英語に対する態度が変わったのはもちろん、人文社会学についてより興味を持つことができ、日本とは全く異なる文化を感じることができ、そこから改めて日本の良さが実感できました。単に語学という目的だけではなく実際に海外で 3 週間過ごして何か新たなものを発見したいと考える人には非常におすすめのプログラムです。

ぜひマラヤ大学の SEP に参加して、価値のある 3 週間を過ごしてほしいです！！！！